

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会理論と社会システム Social theory and social system		1年	前期	金曜・3限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
井上 美和	非常勤講師室	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
人間科学の一つとして、社会学の基礎的知識を修得する。そのために基礎的な社会学説を取り上げ、歴史的な社会学の理解を深める。その上で現代社会や社会問題の特質、人と社会の関係性、生活の特徵等について学ぶ。				
授業の到達目標				
①社会理論による現代社会の捉え方を理解した上で、社会問題について理解、考察することができるようにする。 ②人と社会の関係について理解することができるようにする。 ③家族、世帯、ライフステージ、ライフサイクル等、「生活」を理解することができるようにする。				
授業の方法				
テキストを使用しながら、毎時間資料を配布し、講義形式で単元のポイントを明確にする。また社会学を身近に学ぶために、新聞記事等を活用し考察を深める。				
学習の成果				
①基礎的な社会学説を学ぶことで、歴史的な社会学の流れを理解できる。 ②現代社会や社会問題の特質について、時事問題と関連させながら理解することができる。 ③人と社会の関係性、生活の特徵等について理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業のねらいと進め方、成績評価について等の説明			
第2回目	意味と相互主観性			
第3回目	アイデンティティ			
第4回目	スティグマ			
第5回目	正常と異常			
第6回目	ジェンダー			

第7回目	規範と制度	
第8回目	コミュニケーションの自己準備	
第9回目	社会の中の権力	
第10回目	不平等と正義	
第11回目	共同体① 社会構成	
第12回目	共同体② 家族と生活構造	
第13回目	共同体③ 都市化と地域社会	
第14回目	まとめ	
第15回目	まとめと定期試験	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	30%	①テキスト、配布資料を毎時間持参しているか、②ディスカッションで積極的に発言しているか、③集中してノートをとっているか、を評価基準とする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	70%	授業内容を理解しているか、また当該科目の目標をどの程度達成できているかによって評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴恵 『社会学のエッセンス[新版]』 有斐閣 2011年		
履修上の心得・ルール		
日頃から社会で起こっている出来事に興味、関心をもって、積極的な態度で授業に臨んで下さい。教科書は必ず毎時間持参して下さい。		